JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島
vol. 317
発 行：日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者　島　和　久

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088(655)4105
fax. 088(655)4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎4月24日(土)　第1期労働関係セミナー(第1回・第2回)(ふれあい健康館)
- ◎4月27日(火)　連合四国ブロック政策担当者会議(高松市・Web併用)
- ◎5月　1日(土)　第92回徳島中央メーデー(御成婚広場)

すべての労働者の立場にたった働き方の実現を

2021春闘勝利
徳島県総決起集会

徳島県春闘共闘会議は、2021年3月5日、あわぎんホールにおいて、「2021春季生活闘争勝利3.5徳島県総決起集会」を規模縮小・感染症対策の上で開催し、各構成組織から約100人が参加した。

長谷女性委員会副委員長が司会を務め、辻財政局長の開会挨拶の後、主催者を代表して、新居共闘会議議長から、「『すべての労働者の立場にたった働き方』の実現に向けて、労使が職場の課題に真摯に向き合い取り組みを展開することで社会全体にアピールし、豊かになる方向へ舵を切ることが今次春季生活闘争の大きな課題であり、我々労働組合組織に課せられた使命でもある。私たち連合を中心とする春闘共闘会議が先頭に立ち、『底上げ』『底支え』『格差是正』と『すべての労働者の立場にたった働き方』の実現を推し進めていく」と挨拶。

新居共闘会議議長があいさつ

続いて、島共闘会議事務局長から「発足総会で確認された2021春季生活闘争方針に基づき山場を迎える大手の交渉を支援するとともに、①月例賃金の絶対額の引上げにこだわり、名目賃金の最低到達水準と目標水準への到達 ②「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直しの運動にチャレンジし、中小・地場組合の早期妥結に向けてこの総決起集会を開催し、ここに総力を結集する。」と方針と課題を提案。

その後、田村民間大手部会部会長、原田徳島県中小労働対策本部議長、大谷公務労協議長、松本中央地協副議長、細田西部地協議長、岩佐南部地協議長が決意表明し、小畑連合徳島青年委員会委員長による「2021春季生活闘争勝利3.5徳島県総決起集会アピール」が提案され、参加者全員の拍手で採決され、小合連合徳島副会長の閉会挨拶と新居共闘会議議長の一本締めで集会を終えた。

春闘勝利に向け、団結一本締め

各構成組織から約100人が参加

県内3団体に要請書提出

― 2021春闘政策・制度要求 ―

2021春季生活闘争の山場を前に、新型コロナウィルス感染症の拡大防止を考慮し、2021年3月2日に徳島労働局に10人、3月4日に経営4団体に7人、3月5日に徳島県に10人で、規模縮小と時間短縮により要請を行った。

徳島労働局への要請では、連合徳島からは要請書のポイントを説明するとともに、徳島労働局から取り組みの概要が報告され、働く者のための働き方改革を進めるためにも、徳島労働局と連合徳島がそれぞれの役割を認識し、十分に連携していくことの重要性を確認した。質疑応答では、労働問題への厳格な監督指導の徹底、法改正への対応や新型コロナウィルス対応における中小企業の職場の現状などについて意見交換した。

徳島県要請

経営4団体への要請では、新型コロナ感染拡大が継続する中で迎える、2021春季生活闘争の山場を控え、徳島県内労使の認識を確認することができた。人口減少下における徳島県の経済の活性化には賃金の引き上げが重要であり、労使が共通認識の下で交渉していくことの意義について要請した。経営団体代表者からは、「コロナをはじめ企業を取り巻く状況が厳しい時だからこそ、従業員とともに乗り切っていくための姿勢が必要」と力強いコメントがあった。意見交換では、女性活躍推進の重要性についても認識の共有を図った。

徳島県への要請では、連合徳島要請書に対して回答書が示された上で、各部局の取り組みについて説明を受けた。質疑応答では、介護・保育職場の人材確保や、次世代育成に関する要請項目について、活発な意見交換が交わされた。

なお、要請行動の概要については、要請行動の最終日となった3月5日に開催した2021春闘勝利総決起集会で報告した。

経営4団体要請

労働局要請

3月街宣

春闘がスタート「三六協定」の大切さを周知

2021年3月9日、JR徳島駅前で「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」街宣行動を開催し、連合徳島各構成組織の参加者がアピールボードをもって周知を行った。

冒頭、連合徳島新居会長から、「2021春闘は、例年とは違い2つの危機が問われている春闘である。ひとつは、コロナに対し、命と暮らしを守る取り組みが必要であり、医療崩壊の現状も改善されていない中、低賃金、長時間労働が多いとされるエッセンシャルワーカーの処遇改善の必要性である。もうひとつは日本の雇用が劣化しているという危機である。この20年間、日本の賃金水準が停滞を続けてきた中で、欧米先進国の賃金は日本の1・5倍となり差が開いている。過去7年間続けてきた賃上げの流れがコロナで途切れ、再びデフレの闇に戻ることも想定される。コロナだから『賃上げはできない』という経営側の一言で済まされるなら、賃上げの持続性がなくなり、賃上げによる経済の好循環でなく、悪循環に陥ることにならない為にも、連合全体としてベア2%の賃上げを求めることに意味がある」と力強く訴えた。

続いて、徳島県中小労働対策本部・原田議長より「企業規模間格差の是正」等について、こくみん共済coop藤岡本部長からは「防災減災の取り組み・備え」の重要性について、立憲民主党徳島県総支部連合会庄野代表からはコロナ禍における徳島県の様々な支援・取り組みなどについて訴え集会を終了した。

道行く人に訴える弁士ら

横断幕・アピールボードで県民に周知

2021Syunto ふれあいファミリーデー

連合徳島の活動をアピール
絵画コンクールを開催

県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は、2021年3月14日、2021Syuntoふれあいファミリーデー「かぞくのふれあい」「わたしのゆめ」絵画コンクールの表彰式を徳島市万代町の特定非営利活動法人Creer（クレエール）で開催した。

昨年度までは、あすたむらんど徳島でキャラクターショーを中心に企画していたが、新型コロナ感染症の感染拡大防止の観点から昨年度は中止した。このため本年度は、県内の小学生を対象に絵画コンクールに変更し、県内から153点の応募作品が寄せられた。

受賞作品の選考は、画家の青木成実先生や連合徳島会長をはじめ執行部、（公社）徳島県労働者福祉協議会会長が行い、低学年の部・高学年の部ごとに最優秀賞・連合徳島会長賞・徳島県労働者福祉協議会会長賞・特選・夢ふくらむで賞を選んだ。

表彰式開会にあたり主催者を代表して、連合徳島新居会長から「春闘の時期に毎年行っているSyuntoふれあいファミリーデーを絵画コンクールとして初めて開催したが、子どもたちの心温まる絵がこんなにも沢山寄せられ、優しい気持ちになれた事に感謝する。子どもたちの将来のためにも、県内で働く皆さんの生活を豊かにして行こう」と挨拶。

続いて、両会長から表彰状と賞品が各受賞者に手渡された。最優秀賞低学年の部に井本友祐さん、高学年の部に岡田杏さんが受賞。連合徳島会長賞低学年の部に赤澤穂乃花さん、高学年の部に岡田奈々さんが受賞。なお、連合徳島ホームページに受賞作品と受賞者名を発表している。応募作品の作品展は、特定非営利活動法人Creer（クレエール）において4月4日（日）まで開催した。

表彰状を読み上げる連合徳島新居会長

表彰状授与する労働者福祉協議会川越会長

JR徳島駅前でアピールウォーク
― 3.8国際女性デー ―

3月8日（月）17時30分よりJR徳島駅前にて「3.8国際女性デー徳島県集会」を開催した。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、街宣カーによるリレートークのみとし、ビラ配布は見合わせた。

連合徳島藤田女性委員長の司会で開会し、中野真由美実行委員長あいさつの後、①徳島県女性協議会大寺禮子さん②イーブンネット・徳島代表諏訪公子さん③部落解放同盟徳島県連合会事務局長歯朶山加代さん④男女平等参画リーダー連絡会瀬尾規子さん⑤ストップDV・サポートの会湯浅真由美さん⑥徳島県議会議員東條恭子さん⑦徳島県議会議員吉田益子さん⑧アイ女性会議徳島県本部事務局長高開千代子さん、以上8人の弁士から、「3.8国際女性デー」の意義や森喜朗東京オリンピック組織委員会会長の発言、日本のジェンダーギャップ指数の低さなどについて訴え終了した。

JR徳島駅前でアピール

連合徳島3地協

海陽町大里海岸に300本松を植樹

連合徳島3地協は2021年3月13日、海陽町大里海岸において防災植樹を行った。組合員・VSTなど60人が参加した。

一昨年の台風豪雨で潮が入り、多くのマツが枯れたため、いつ発生するかわからない南海トラフ地震や津波、そして昨今被害が大きくなっている台風に備え、防災のための植樹ボランティアに協力している。

今年はコロナウイルス感染防止のため、防災研修会は中止とし、植樹のみとした。現地の大里集落のみなさんが前もって枯れた松を伐採するなど、広い場所を確保していただいた。前日は大雨で開催が危ぶまれたが、当日は天候にも恵まれ現地のボランティアの方々とともに、災害に強いとされるクロマツを300本以上植えることができた。

各構成組織等の協力で苗木を植樹

青年委員会

春闘・社会保障制度をテーマに学習

連合徳島青年委員会は、2021年3月19日、労働福祉会館502号室で学習研修会を開催し、各構成組織から18人が参加した。

冒頭、青年委員会小畑委員長から「コロナ禍で自粛が続く中、青年委員会の活動にも影響があった。このように、他の構成組織の皆さんと交流する機会の大切さを再認識した。これから組織を担う皆さんと一緒に学習することで、今後も青年委員会を盛り上げていきたい。」と挨拶。

続いて、連合徳島島事務局長から「誰もが希望を持てる社会を実現！」をテーマに講演。YELLの特集「今こそ考えよう！働く人のセーフティーネット」から給与明細で分かる社会保障制度として、給料明細の中で控除される各種保険の内容を説明。また、世界の制度を参考にした日本のあり方について説明。2021春季生活闘争・中小組合元気派宣言を参考資料とした講義では、労働組合が知っておくべき法・制度を中心に説明を受けた。

続いて、小畑委員長が青年委員会の学習研修会のまとめを述べ、松本副委員長の閉会挨拶と小畑委員長の団結ガンバローで閉会した。

島事務局長が春闘＆社会保障制度説明

各構成組織から18人が参加

部落解放・人権政策確立めざし 県民運動を展開へ
―第41回部落解放・人権徳島地方研究集会―

第41回部落解放・人権徳島地方研究集会が、2月18日『すべての力を集めて「部落解放・人権政策」を確立しよう。反差別・人権の確立・福祉の向上をめざした県民運動を展開しよう』をスローガンに開催した。

開会にあたり、新居実行委員長（部落解放地方共闘議長・連合徳島会長）はコロナ感染者に対する差別的書き込みが氾濫している。心無い行動を断じて許さず不義を正していく。また、狭山事件は部落差別が生んだ冤罪事件であることを引き続き広く国民にアピールしていこうとあいさつした。

その後、石川一雄さん・早智子さんからのビデオメッセージ、部落解放同盟中央本部・組坂委員長の基調講演に続き、昨年実施した「反差別研修・丸亀」について、自治労県本部書記の北浦さんから香川の解放運動の歴史と現状、丸亀金山地区の取り組み等について報告を行った。

記念講演では、部落解放・人権研究所代表理事、谷川雅彦さんから「法務省実態調査結果と部落差別解消の課題」と題し、日常生活に潜む差別意識やインターネット上で部落差別の解消をすすめる新たな教育・啓発手法の開発が急がれると訴えた。

新居実行委員長があいさつ

反差別研修報告する
北浦さん（自治労）